

講師 三重大学人文学部教授 児玉克哉氏

と き: 2006年8月2日(水)午後1時30分～午後4時30分

(財)三重地方自治労働文化センター2階 自治研修室

分権型社会において、従来の行政主導のスタイルが、転換期を向かえている今日、地域社会における実情・行政的課題・その他諸課題におけるアプローチ。

セミナー開設の意義・全体的な課題提起など。



セミナー開講、初回に際し、座長三重大学人文学部教授 児玉 克哉氏により『新しい時代の「まちづくり」』と題して講義形式でのセミナーを行いました。

冒頭に「与えられるまちづくりから創るまちづくりへ」と課題提起し、「住民自らがイキイキと活動できるまちづくりのシステムと方法」を探ることを目標とした視点について、いくつかの具体的なキーワードとして「まちづくりの視点1」 まちの個性を生かす。「まちづくりの視点2」 マイナスをプラスに生かす。「まちづくりの視点3」 まちづくりの情報ツール。「まちづくりの視点4」 主体づくり。「まちづくりの視点5」 まちづくりの意欲の増大。等を例示いただき、また身近な県内の例なども挙げながら、今後のセミナー及び参加者への課題提起も含めた講義をいただきました。